

大会競技規則

幼年・小学生・中学生の部

1. 競技方法

- ・試合は、**3本勝負(2本先取)**とする。
- ・1本先取後、試合時間終了となった場合は、1本先取者の優勢勝ちとする。
- ・判定により勝敗を決する場合は、次に示す順序により判定する。
 - ①警告の有無 ②試合内容(優勢・劣勢) ③技能

□試合方法

(1) 予選リーグ・決勝トーナメント戦併用方式

【リーグ戦】

- ・取得本数が同数の場合は、引き分けとする。
- ・順位は以下の順序により決定する。
 - ①勝ち数が多い者 ②負け数が少ない者 ③取得本数が多い者
 - ④失点本数(取られた本数)が少ない者
- ・上記で順位が決定しない場合は、以下による。
 - ①当該選手による再試合(1分間・1本勝負)
 - ②それでも勝敗が決しない場合は、判定とする。
- ・再試合が複数選手によるリーグ形式となる場合は、**1分間・3本勝負(2本先取)**とし、それでも勝敗が決しない場合は、判定とする。

【トーナメント戦】

- ・試合時間内に勝敗が決しない場合は、判定とする。
- ・ただし、決勝戦および三位決定戦は以下のとおりとする。
 - ①延長戦は1分間・1本勝負とする。
 - ②それでも勝敗が決しない場合は、判定とする。

2. 試合時間

- ・試合時間は、1分間30秒とする。

3. 競技規則

(1) 防具および攻撃制限

- ・小学4年生以上は、「少年ソフト面」を着用すること。
- ・小学4年生以上は、股当てを着用すること。
- ・顔面への攻撃は、原則としてすべて空撃(ノンコンタクト)とする
ただし、中学3年生に限り「一般面」を着装した場合に限り、面への直接打撃を認める。
- ・全学年共通で、顔面への蹴り技は横蹴りのみ有効とする。
- ・使用する「少年ソフト面」は、一般社団法人日本拳法競技連盟公認品
または大会実行委員会が認めたものとする。

(2) 安全管理

- ・負傷防止および再発防止のため、サポーター・テーピングの使用を認める。
- ・ただし、肘・膝のサポーターは綿等の緩衝材を含まないものに限る。

(3) 失格事項

- ・試合場で呼び出しに応じない選手は失格とする。
- ・ゼッケン未着者は失格とする。

(4) その他

- ・本要項に定めのない事項は、一般社団法人日本拳法競技連盟競技規則に準拠する。

大会競技規則

高校・壮年・一般の部

1. 競技方法

- ・試合は、**3本勝負(2本先取)**とする。
- ・1本先取後、試合時間終了となった場合は、1本先取者の優勢勝ちとする。
- ・判定により勝敗を決する場合は、次に示す順序により判定する。
 - ①警告の有無 ②試合内容(優勢・劣勢) ③技能

□試合方法

(1) トーナメント戦方式

- ・試合時間内に勝敗が決しない場合は、判定とする。
- ・ただし、決勝戦および三位決定戦は以下のとおりとする。
 - ①延長戦は2分間・1本勝負とする。
ただし、一般男子有段の部は3分間・1本勝負とする。
 - ②それでも勝敗が決しない場合は、判定とする。

(2) リーグ戦方式

- ・取得本数が同数の場合は引き分けとする。
- ・順位は以下の順序により決定する。
 - ①勝ち数が多い者 ②負け数が少ない者
 - ③取得本数が多い者 ④失点本数(取られた本数)が少ない者
- ・上記により順位が決定しない場合は、以下による。
 - ①当該選手による再試合(1分間・1本勝負)
 - ②それでも勝敗が決しない場合は、判定とする。
- ・再試合が複数選手によるリーグ形式となる場合は、
1分間・3本勝負(2本先取)とし、
それでも勝敗が決しない場合は、判定とする。

2. 試合時間

- ・試合時間は2分間とする。
ただし、一般男子有段の部は3分間とする。

3. 競技規則

(1) 安全管理

- ・負傷防止および再発防止のため、サポーター・テーピングの使用を認める。
- ・ただし、肘・膝のサポーターは綿等の緩衝材を含まないものに限る。

(2) 失格事項

- ・呼び出しに応じない選手は、失格とする。
- ・ゼッケン未着者は、失格とする。

(3) その他

- ・本要項に定めのない事項は、一般社団法人日本拳法競技連盟競技規則に準拠する。

【デモンストレーション競技】

面空乱撃競技

- (1) 面部への攻撃は空撃(ノンコンタクト)とし、胴部へは実撃(フルコンタクト)で行う。
その他、投げ技、間接逆捕り技も有効とするが、組討状態は5秒以内とする。
- (2) 顔面への蹴り技は横蹴りのみ有効とする。
- (3) 拳法面は、6mm面および7mm面を推奨する。ただし、フェイスガード付きの軽量防具等、大会実行委員会が認めた面を使用することができるものとする。
- (4) 本要項に定めのない事項は、一般社団法人日本拳法競技連盟競技規則に準拠する。